

# 法隆寺と大仙市

鈴木空如が結んだ縁を未来へ

2025.5.26 [MON]

時間 10:00～12:00(開場 9:30)

会場 中仙市民会館ドンパルホール

太田地域出身の仏画家・鈴木空如が生涯をかけて3回模写し伝えた「法隆寺金堂壁画」により、法隆寺と大仙市は縁を深めています。この度、法隆寺の古谷正覚管長を迎えて、日本文化の礎を築いた聖徳太子の功績や法隆寺の歴史を紹介する特別講演会を開催します。

さらに、仏教美術の研究者を交え、法隆寺金堂壁画の絵画史的価値や、壁画の保護・保存活動の歩みを紹介し、空如の画業を振り返る座談会を開催します。



講師

聖徳宗第7代管長・法隆寺第130世住職

古谷 正覚氏

龍谷大学文学部卒業、高野山大学大学院修士課程中退。法隆寺文化財保存事務所所長、聖徳宗宗務所所長・法隆寺執事長等を歴任。2020年より現職。

## 座談会



ゲスト

東北大学名誉教授  
東京藝術大学客員教授 有賀 祥隆氏

東北大学文学部卒業。奈良国立博物館学芸課普及室長、文化庁文化財保護部美術工芸課主任文化財調査官、東北大学文学部教授等を歴任。法隆寺金堂壁画保存活用委員会委員長、鈴木空如資料調査研究事業専門指導委員。専門は仏教絵画史。



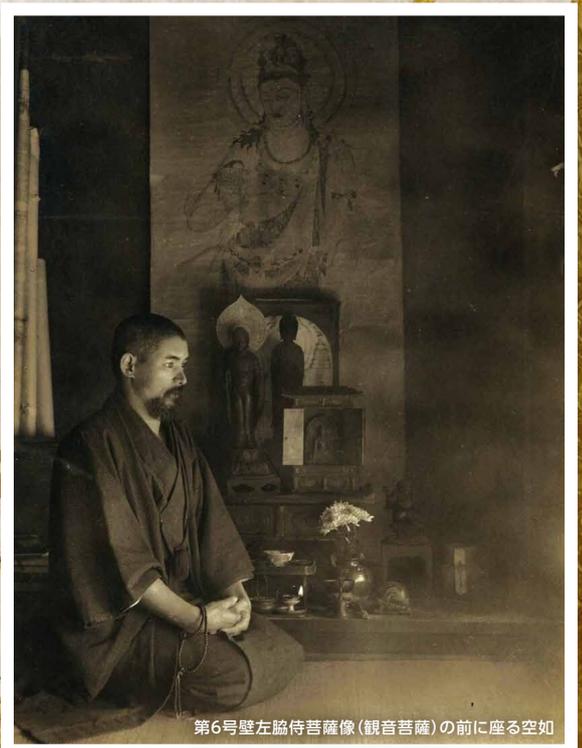
ゲスト

皇居三の丸尚蔵館  
上席研究員 瀬谷 愛氏

東京大学大学院博士課程中退。山口県立美術館学芸員、東京国立博物館保存修復室長、列品管理課登録室・貸与特別観覧室長を経て2024年より現職。特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」(2020年)主担当、鈴木空如生誕150周年記念事業監修。専門は日本絵画史。

コーディネーター  
秋田テレビアナウンサー

菅原 咲子氏 (Live News あきた  
月～金 キャスター)



第6号壁左脇侍菩薩像(観音菩薩)の前に座る空如

鈴木空如(1873-1946)

明治から昭和期に活躍した仏画家。法隆寺金堂壁画を原寸大で3度模写したほか、今では散逸した仏画の名品を数多く模写し、後世に伝えた。